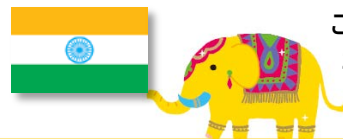


モディノミクスで躍進するインド



彗星のごとく現れた「行政の魔術師」



Narendra Modi

2014年5月、インド人民党（BJP）が下院総選挙で圧勝し、10年ぶりの政権交代が実現しました。それにより、グジャラート州首相時代の経済改革で「行政の魔術師」と呼ばれたナレンドラ・モディ氏が首相に就任しました。

モディ首相は、エリート出身ではなく貧しさを知っていること、国民が熱望する経済改革と汚職撲滅への手腕などが期待され、貧困層から中間層、知識階級まで幅広い支持を集めました。連立政権で混乱しがちなインドに強い政権が誕生したのです。

わかりやすいスローガンで改革推進

「モディノミクス」とも呼ばれる経済政策について、海外から期待を集めるのが外資導入への取り組みです。外遊先では自らトップセールスを行なう一方、国内では外資規制の緩和を次々と発表しました。他にも、メーク・イン・インド（インドでものづくりを）、デジタル・インド（デジタル化でインドを知識経済社会に）、グリーン・インド（インドをきれいに・寺よりトイレを）といったスローガンや、貧困層などに銀行口座を開設させるキャンペーンなどを打ち出し、改革に取り組んでいます。

ナレンドラ・モディ(Narendra Modi)

1950年生まれ。6人兄弟姉妹の3番目で、学生時代は自らチャイ屋で生計を立てた苦労人です。その名が全国区になったのは、2001～2014年のグジャラート州首相時代のこと。大地震からの復興を果たし、インフラ整備と高成長を実現しました。演説の巧みさはインド随一と言われ、幅広い層の国民の心をつかみました。

（出所）各種報道資料を基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

- 2014年「世界で最もパワフルな人物」番付モディ首相が15位で初のランクイン！

インドの新しいロックスターは、インド版ハリウッド出身ではなく、5月の総選挙で地滑りの勝利を果たしたインド人民党の国家首相だ！

（米フォーブス誌）

- モディ政権の主な成長戦略



- 高成長志向型の2015年度予算案を発表

2015年度の経済成長率見通しは8～8.5%

インフラ投資に重点配分

財政健全化は一旦遅れるが着実に実行

将来的に法人税率を30%→25%に